

真夏の暑さにも負けずに送った大声援！

▼吹奏楽部では、6月から野球応援の練習を始めました。30曲以上あるレパートリーの中から10数曲を選んで特訓。当日は、タオルで直射日光を遮り、水分補給を十分するなど、熱中症を予防しながら臨みました。



▼外野席から熱のこもった声援を送る応援団。さまざまな部活のメンバーが心をひとつにして応援しました。



▲力いっぱい声援を送る野球部の控えメンバー。これまで一緒に厳しい練習をしてきた仲間と気持ちは一緒。OBも大勢応援に駆けつけました。

▼野球部とともに声を枯らして応援したバレーボール部員たち。種目は違っても、勝負にかける気持ちは一緒です。



▶応援を盛り上げるのは、ダンス部とバトン部。普段は別々に活動をしていましたが、試合当日は息の合ったダンスを披露しました。



吹奏楽部、コンクールで見事県代表に！

野球応援の他にも新入生歓迎会や文化祭、地域の音楽会などに参加している吹奏楽部。中学で初めて楽器に触れた部員も、5月に行われるデビューコンサートに出場します。7月末に行われた朝日新聞社主催の吹奏楽コンクールでは、高等学校B部門（小編成の部）で金賞を受賞し、県代表として東関東大会にも出場を果たしました。冬は中学生を中心に、ソロコンテストやアンサンブルコンテストに出場の予定です。



受験生必見！ 2013年注目の私学ニュースをご紹介します。
普段の学校生活から最新の行事や研究発表の成果など、
私学の話題、各学校の今を知る情報が満載です。

SGK 私学最前線



◀吹奏楽部、野球部、ダンス部、バトン部、バレーボール部で結成された応援団。試合当日は、熱中症に気をつけながら、力の限り応援しました。

▼創部6年目の野球部。応援の力あって、4対2で初戦を突破しました。



大応援団が一致団結！ 力の限り野球部を応援

昭和学院

7月16日、全国高等学校野球選手権千葉大会に出場した野球部の応援に、吹奏楽部をはじめとする大応援団が駆けつけました。舞台は千葉県柏の葉公園球場。吹奏楽部の演奏をバックに、野球部、ダンス部、バトン部、バレーボール部などがエールを送ります。

真夏の太陽が降り注ぐなか、試合が始まると、吹奏楽部が演奏する『アフリカンシンフォニー』や『海のトリトン』『情熱大陸』『狙い撃ち』などの曲に合わせて、ダンス部やバトン部が踊りで盛り上げます。同時に、野球部のマネージャーが打者の名前を書いたプラカードを示し、野球部の控えメンバーとバレーボール部が力の限り声援を送りました。

日頃は各部、別々に活動をしていますが、試合当日は見事な団結力を見せました。それもそのはず、一体感を出すため、4月の新入生歓迎会で、合同での応援を披露。さらに、6月から練習を重ねてきました。

応援団をリードするのは、応援用の曲だけで30曲以上のレパートリーを持つ吹奏楽部です。中学生25人、高校生35人が一緒に活動をしています。野球部の応援では、レパートリー30数曲の中から15〜20曲を選び、6月から練習をスタート。当日は、入部して間もない中1生から高3生まで、息の合った力強い演奏を披露しました。同部は、7月の終わりに行われた朝日新聞社主催の吹奏楽コンクールにも出場しました。

「私も高校時代、吹奏楽部に所属していましたが、野球部の応援で甲子園に行ったときに感じたのが、野球部が強い学校は吹奏楽の演奏もうまいということ。甲子園出場校は、コンクールでも上位の成績を収めている学校が多いのです。私たちも野球応援と、コンクール、両方に全力を尽くしていきます」（吹奏楽部顧問の牧野宏哲先生）
気合の入った応援の後押しもあり、試合は4対2で勝利。2回戦に駒を進めました。